資料－３

検　　討　　概　　要

昨今の厳しい財政事情により新規事業の投資額が大きく減少し、社会資本ストックに対する質の変化が大きく求められている。特にコンクリート構造物においては、耐震性能の向上や耐久性向上（長寿命化）が重要な課題と考えられます。これらの課題に対応するためには設計・施工・維持管理を含めたコンクリート構造物の耐久性向上対策を立案し、良い資産を後世に残すことが必要です。

これまで、東北の各大学・協会などでも数多くの研究が報告されていますが、その成果が仕様書やマニュアルに具体的に反映されていないこともあり、十分に生かされていないのが実情です。

このような状況を踏まえて、東北独自の気象環境及び材料や施工条件にあった設計・施工・維持管理の思想を、仕様書やマニュアル類の改訂時に参考とし、社会資本の質的向上に寄与出来るよう、ガイドラインなどにまとめあげ、技術力が高い団塊の世代が去る前に後生に伝授することが寛容であると思われます。

この様な背景の下、東北技術事務所では、東北地域のコンクリートに関する有識者による検討委員会を設立することとしました。

ガイドラインの作成にあたっては、準備委員会（名称：コンクリート座談会）でまとめられた、現状の問題点などを参考にし、策定にあたります。